

7. ビジョンの実現に向けて

7-1. 進捗状況の管理

「前橋市水道ビジョン」の施策を実施するにあたっては、定期的に進捗状況を確認することが必要です。特に、計画値と実績値に乖離が生じている場合には、事業の推進に障害となる問題が発生している可能性もあり、その理由を把握しておくことが重要です。また、下水道事業、都市計画事業など他の計画との関連を把握しておく必要があります。

さらに、施策の進捗状況と併せて事業の成果や効果を把握しておくことが重要です。「水道事業ガイドライン」の業務指標（PI）などを活用して評価を行うとともに、ホームページで評価結果を公表します。

7-2. 計画の見直し

「前橋市水道ビジョン」は、平成27年度から令和11年度までの15年間を計画期間としています。しかし、計画の基礎となる水需要については、計画策定時点で想定される要因を考慮して予測したのですが、今後の社会情勢によって大きく変化する可能性もあります。

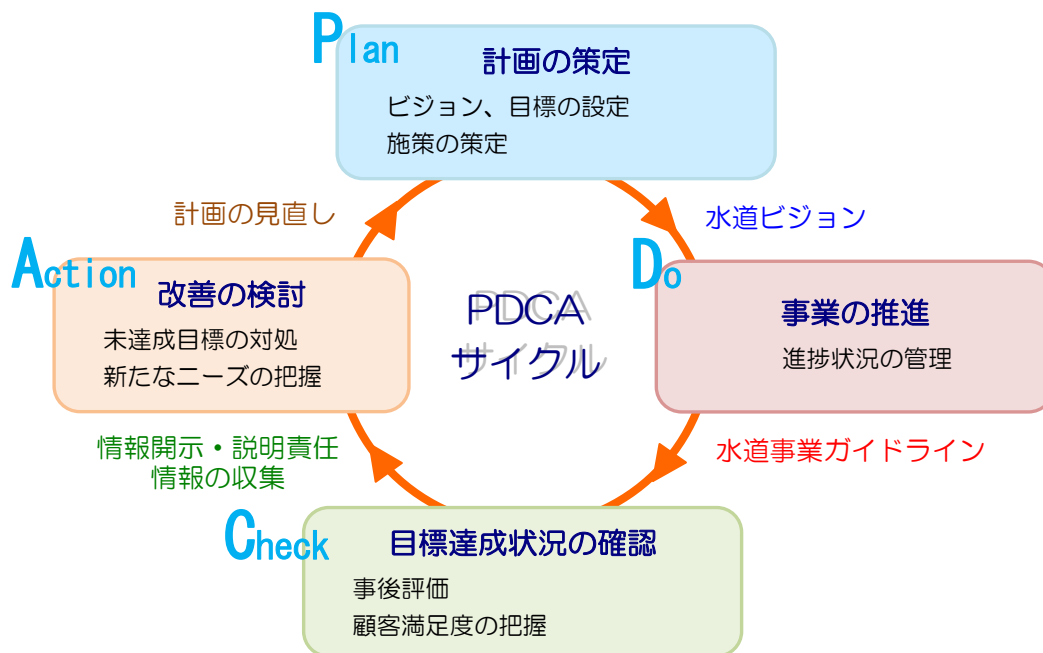


図 7-1 計画実施のためのPDCA サイクル

さらに、県央水の受水契約、地下水の水質悪化やさらなる経営効率化の要求など、事業進捗に影響を及ぼすような要因も考えられることから、概ね5年ごとに中期的な視点で計画の見直しを行います。併せて、実績評価と財政的な検討を加えて実施・財政計画を策定し、毎年度の詳細な計画を立案して、効果的で着実な進行管理に努めます。

計画見直しの際には、図7-1に示すPDCAサイクルにより、事業計画(Plan)に対して、事業の進捗管理(Do)、目標達成状況の確認(Check)、改善の検討(Action)を行います。

また、このサイクルを経ることにより当初計画や事業推進に伴う問題点、事業の有効性などを明確にして、計画の改定を行います。